

計画事業番号	00300	事務事業名	姉妹都市子ども大使交流事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	4812
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	-			
事務事業開始年度	昭和61年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 7) 社会の変化や課題に対応した教育の推進	
2 対象	北広島市及び東広島市の小中学生	
3 目的と内容	小中学生による姉妹都市東広島市との相互訪問により、両市の友好親善を深めるとともにふるさと意識を高める。また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列と、ひろしま子ども平和の集いへの参加等を通して、平和を尊ぶ心を養い、学習成果の還流を図る。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	小中学生合同で東広島市に派遣及び東広島市の小中学生の受入れを実施。歓迎夕食会、交流校訪問(児童・生徒間交流)の実施。また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列と、市制20周年を記念してひろしま子ども平和の集いに参加。
	29年度	小中学生合同で東広島市に派遣及び東広島市の小中学生の受入れを実施。歓迎夕食会、交流校訪問(児童・生徒間交流)の実施。また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式へ参列。(ひろしま子ども平和の集いへの参加は、市制20周年を記念したものであり、H28年度で終了。)

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列、ひろしま子ども平和の集いに参加	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列、ひろしま子ども平和の集いに参加	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式の参列

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	姉妹都市との交流、郷土学習、平和教育を推進するため、今後も継続して実施する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,806		3,209		3,384		3,384	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	3,055		3,209		3,384		3,384	
	① 合計	3,055		3,209		3,384		3,384		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			3,895		4,049		4,224		4,224	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①派遣児童生徒数	目標値	人	14	14	14	14
		実績値		14			
	②受入れ児童生徒数	目標値	人	15	15	15	15
		実績値		15			
③交流校訪問数	目標値	校	14	14	14	14	
	実績値		14				
④交流校受け入れ数	目標値	校	15	15	15	15	
	実績値		15				
成果指標	①各校平和集会等参加人数 【市内小中学校児童生徒数】	目標値	人	4,918	4,745	4,514	4,346
		実績値		4,918			
	②	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値						
【指標の定義(算式等)】	実績値						

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	姉妹都市の歴史・文化を学ぶことや学校間の交流、平和の大切さを学ぶことは、教育の一環として必要であり、行政が実施することは適切である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	交流事業を通じ学び、経験したことは、各校での報告会の開催や、報告集の作成を行い、校内外に発表している。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	今後、平和学習の推進を図るためにも、派遣や受入に係る日程や行事内容の調整を検討していく必要がある。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	現状から予算削減を行うことは、児童生徒の派遣に伴う旅費の費用の一部を保護者から負担を求めなければならない。また、平和教育の一環として各種施設を利用する際の使用料について、可能なものは減免申請を行って事業を運営している現状からも、削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--